

令和4年度 第1回佐賀県交通渋滞対策協議会
議事概要

1. 日時 令和4年8月9日(火) 13:30～15:00

2. 場所 佐賀国道事務所4F 会議室＋WEB

3. 議事

- (1) これまでの経緯と渋滞対策の基本方針
- (2) 主要渋滞箇所のフォローアップ
- (3) 今後の渋滞対策について
- (4) 官民連携による渋滞対策
- (5) 災害時交通マネジメント
- (6) 今後について

4. 議事概要

- 主要渋滞箇所 141 箇所のうち、「県道 48 号山王西交差点^{さんのうにし}」について、主要渋滞箇所の解除の了承を得た。
- 今後の渋滞対策の方針として、道路整備を始めとするハード対策を推進することを確認した。また、ソフト面では佐賀県において実施しているエコ通勤施策について、協議会としてデータ分析結果の提供や交通状況のモニタリング等を実施することを確認した。
- 官民連携による渋滞対策として、国道 34 号鳥栖市村田町交差点^{とすしむらたまち}、国道 34 号鳥栖市一本松交差点^{いっぽんまつ}および国道 202 号二里大橋交差点^{にりおおはし}の対策実施・検討状況を確認した。
- 今後も継続的に渋滞状況をモニタリングし、対策を立案・実施することを確認した。

以上

令和4年度 第1回 佐賀県交通渋滞対策協議会

目次

0. 本日の報告事項・議事内容		1
1. これまでの経緯と渋滞対策の基本方針		2
2. 主要渋滞箇所のフォローアップ		5
3. 今後の渋滞対策について		13
4. 官民連携による渋滞対策		21
5. 災害時交通マネジメント		26
6. 今後について		27

0. 本日の報告事項・議事内容

1. これまでの経緯と渋滞対策の基本方針

2. 主要渋滞箇所のフォローアップ

- (1) 解除フローに基づく解除候補箇所の確認
- (2) 対策済み箇所の確認
- (3) 未対策箇所の確認
- (4) 新たに対策を実施した箇所の紹介

3. 今後の渋滞対策について

- (1) 佐賀県内の主要渋滞箇所の対策実施状況
- (2) ハード面での渋滞対策について
- (3) TDM施策の検討・実施について

4. 官民連携による渋滞対策

5. 災害時交通マネジメント

6. 今後について

本日の議事内容のポイント

ポイント1

最新のデータによるモニタリング結果確認
解除候補箇所の審議

ポイント2

今年度の取り組み方針について

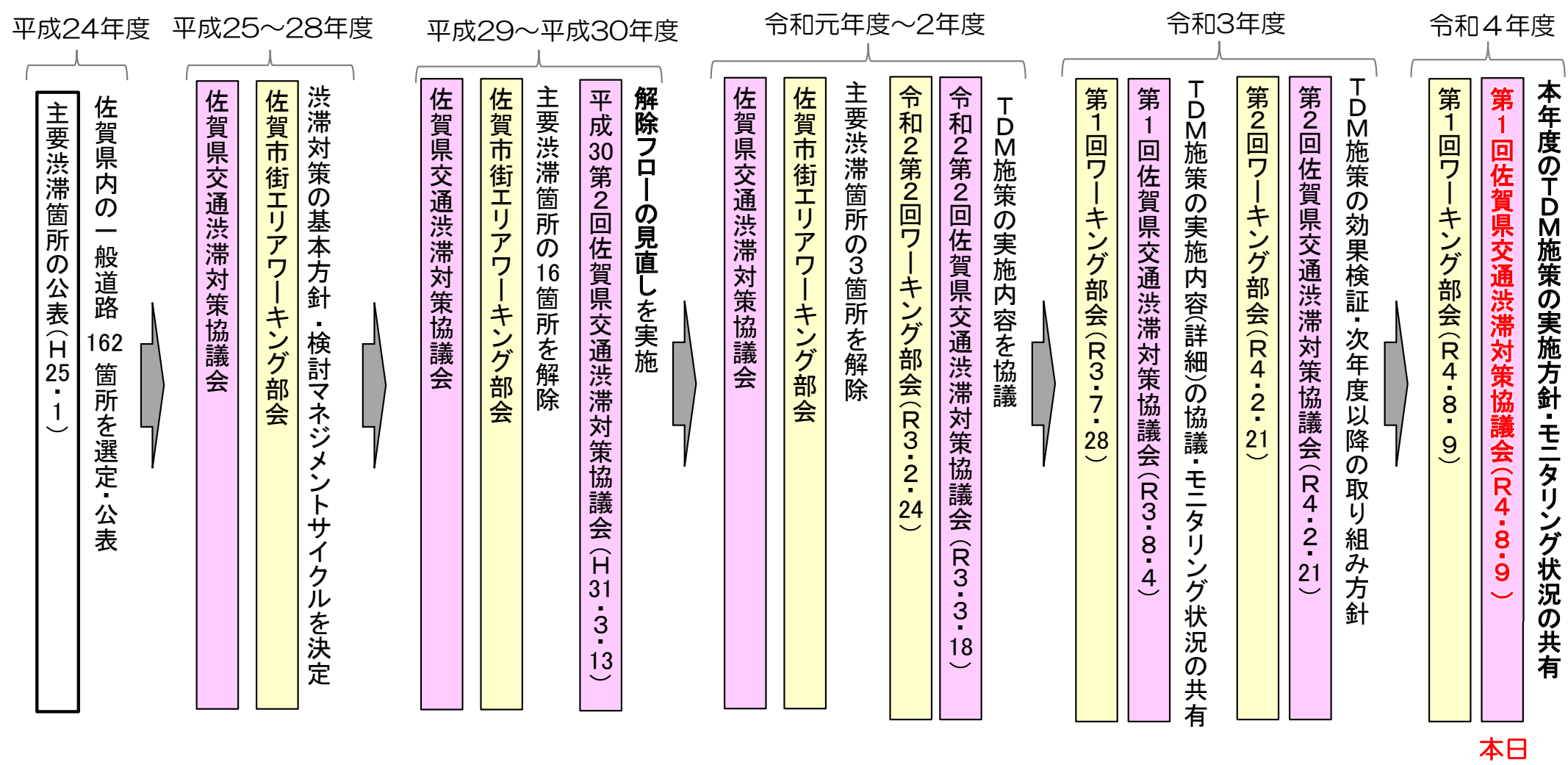
ポイント3

今後のピンポイント対策候補箇所の紹介

- ・国道34号 鳥栖市村田町交差点
- ・国道34号 鳥栖市一本松交差点
- ・国道202号 二里大橋交差点

1. これまでの経緯と渋滞対策の基本方針

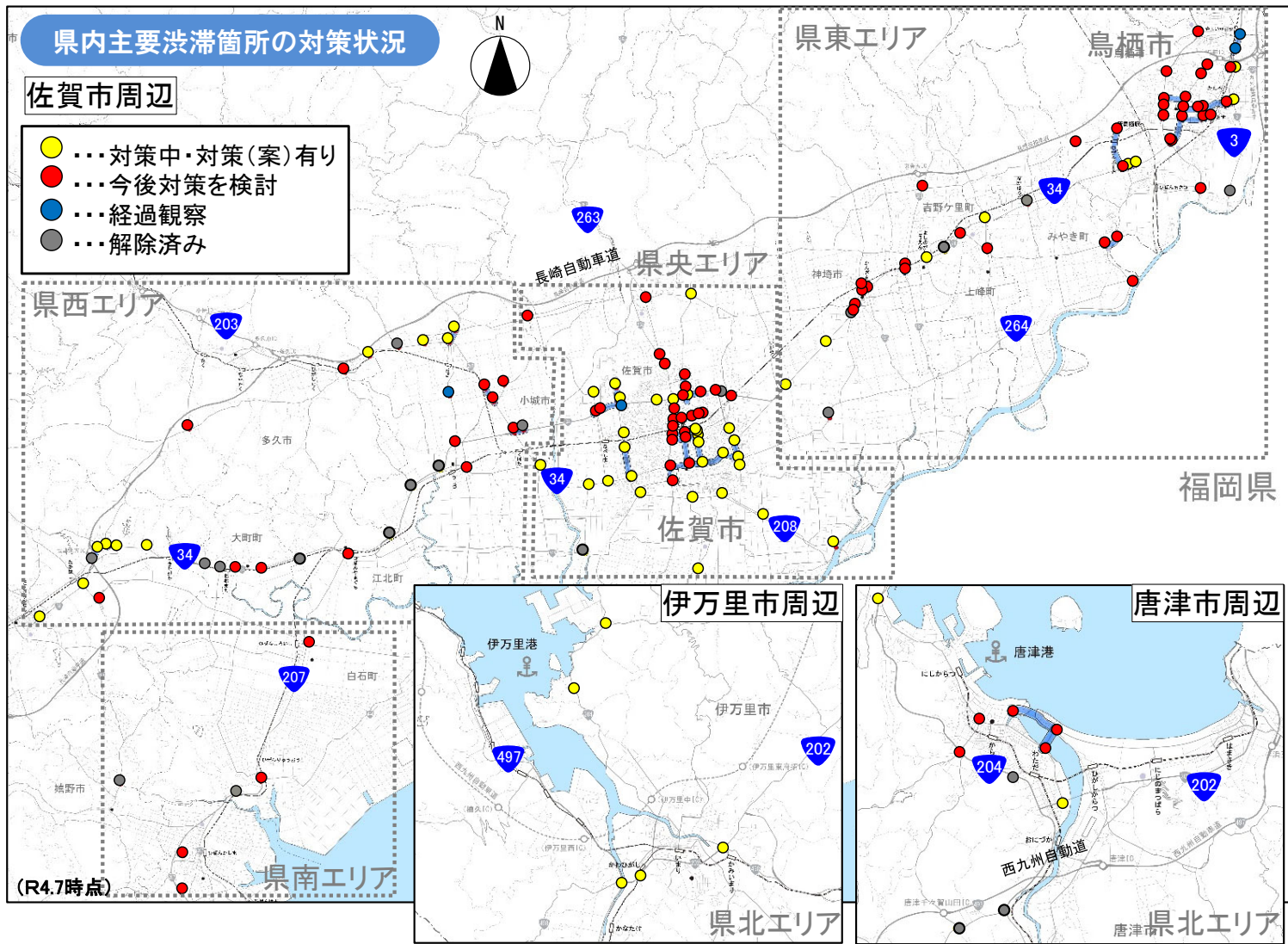
(1)これまでの経緯



1. これまでの経緯と渋滞対策の基本方針

(2)佐賀県内の主要渋滞箇所の状況

- 佐賀県内の主要渋滞箇所は、平成25年1月に162箇所を選定・公表し、バイパス整備及び交差点改良等の対策を実施してきた結果、これまでに21箇所を解除
- 佐賀市・鳥栖市を中心に141箇所の主要渋滞箇所が残存

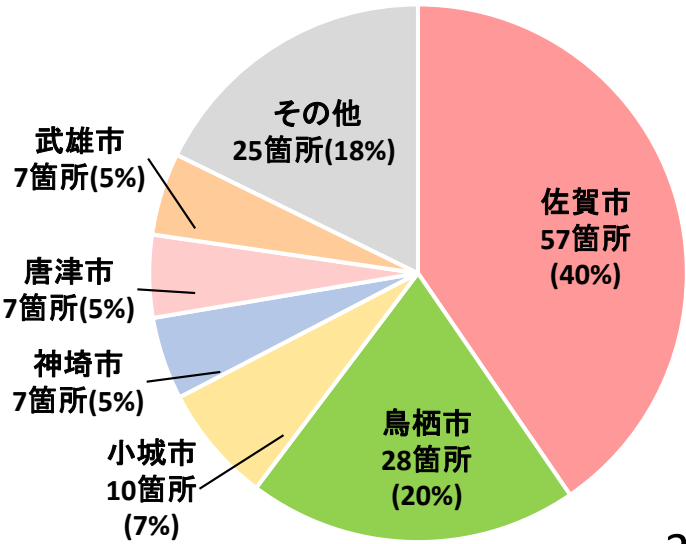


【佐賀県内主要渋滞箇所の変遷】

時期	主要渋滞箇所	内訳	
		集約区間数	箇所数
選定時 (H25.1)	162箇所	35区間 (77箇所)	85箇所
H29年渋滞協後 (H29.8)	155箇所	35区間 (77箇所)	78箇所
H30年渋滞協後 (H30.8)	146箇所	34区間 (75箇所)	71箇所
R1年渋滞協後 (R1.8)	145箇所	34区間 (74箇所)	71箇所
R2年渋滞協後 (R2.8)	143箇所	34区間 (74箇所)	69箇所
R3年渋滞協後 (R3.8)	141箇所	34区間 (74箇所)	67箇所

箇所: 単独で主要渋滞箇所を形成
区間: 交差点等が連担するなど、速度低下箇所が連続しており、複数の主要渋滞箇所を含む区間

主要渋滞箇所(141箇所)の市町別内訳

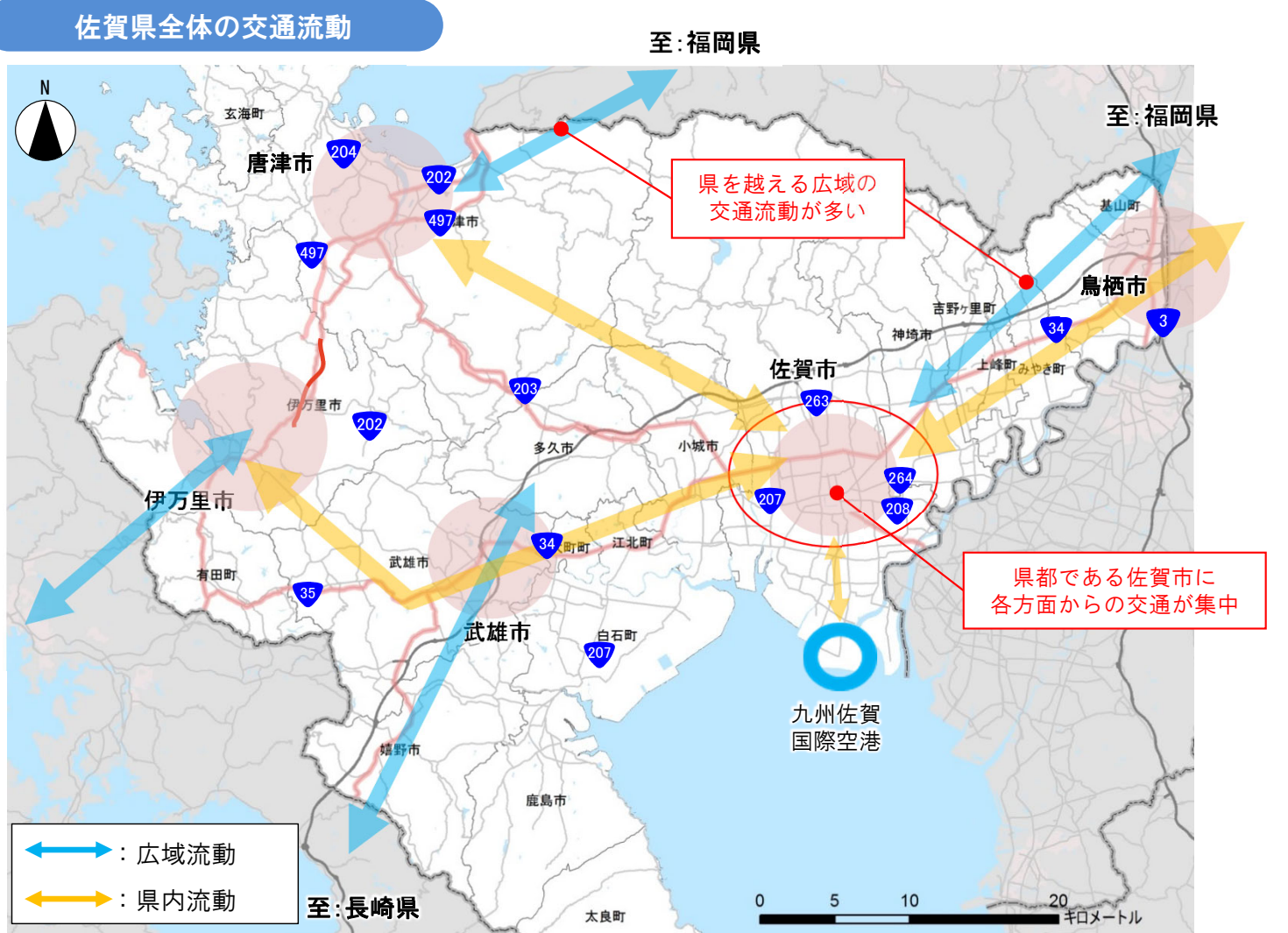
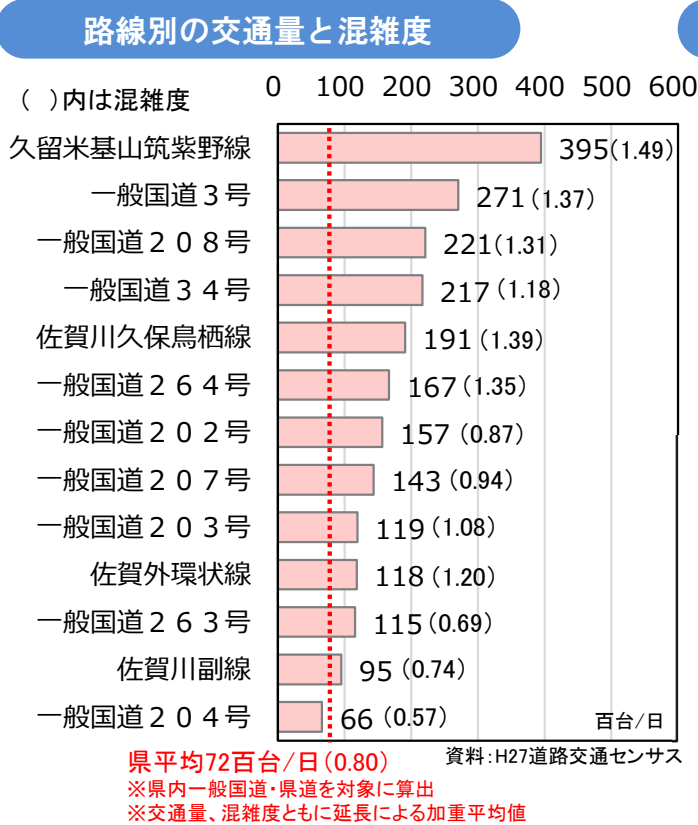


1. これまでの経緯と渋滞対策の基本方針

(3)佐賀県における渋滞対策の基本方針

平成27年度佐賀県交通渋滞対策協議会で決定

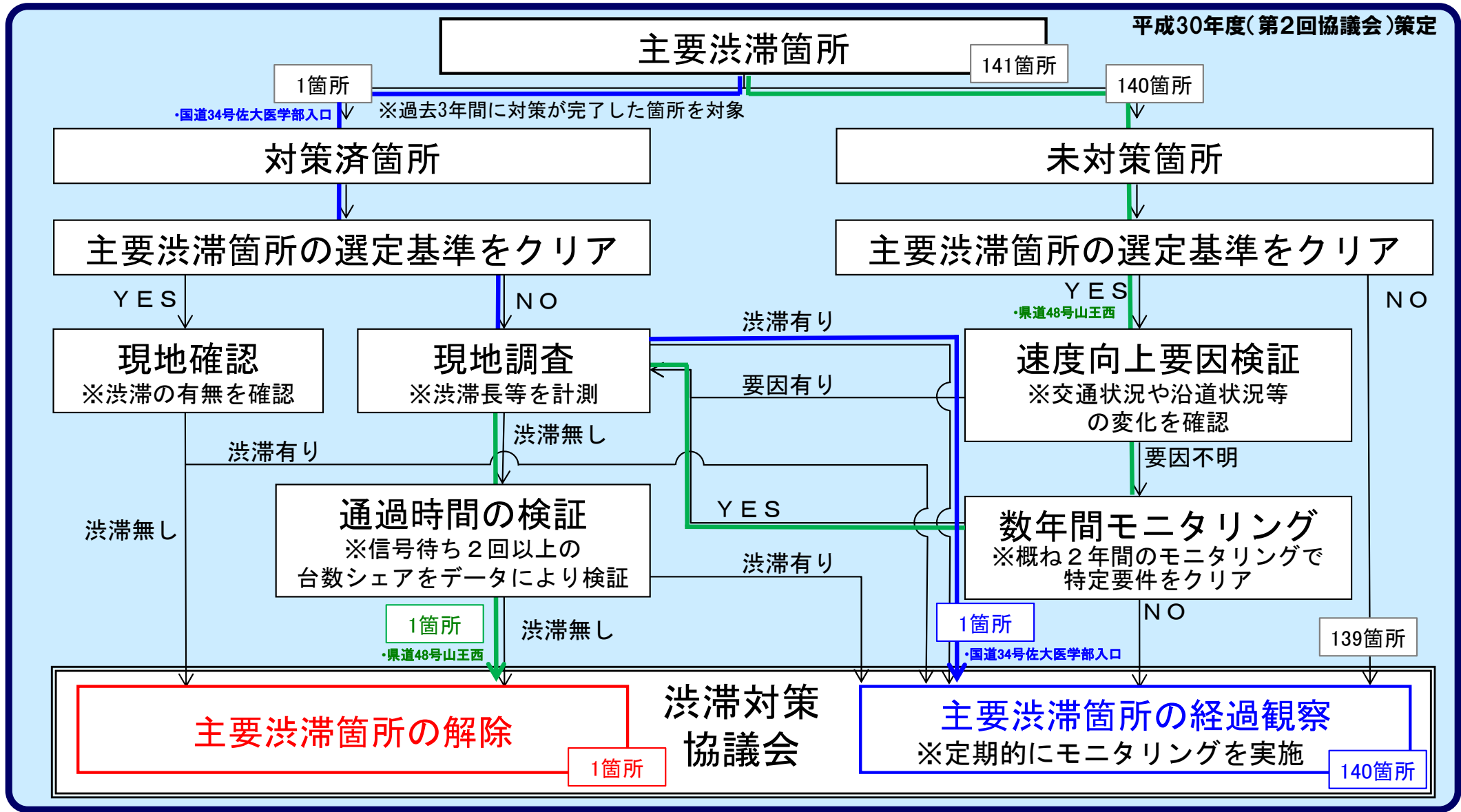
課題	佐賀市街地を中心に、物流・交通拠点が集積する鳥栖市、伊万里市、唐津市や福岡都市圏との都市間交通が多い これらを結ぶ主要幹線道路では、交通容量不足が生じており、佐賀市には県内主要渋滞箇所の約4割が集中している
基本方針	高規格道路等整備や現道拡幅による交通容量の拡大を図るとともに、交差点改良など局所的な対策やソフト施策による渋滞軽減への取組みを検証していく



2. 主要渋滞箇所のフォローアップ

(1) 解除フローに基づく解除候補箇所の確認

- 最新データ(R3.10~12)を用いて主要渋滞箇所のフォローアップを実施
- フォローアップの結果、「**山王西交差点**」を**解除候補箇所**として抽出（※次頁以降にフォローアップ結果の詳細を示す）



2. 主要渋滞箇所のフォローアップ

(2)対策済み箇所の確認

○令和2年度に対策が完了した「国道34号佐賀大医学部入口交差点」について今回対策後のフォローアップを実施
※令和4年に新たに対策が完了した「国道3号永吉交差点」「県道42号石木交差点」については、対策後のデータ蓄積を待ち、次年度フォローアップを実施予定

佐賀県内の主要渋滞箇所

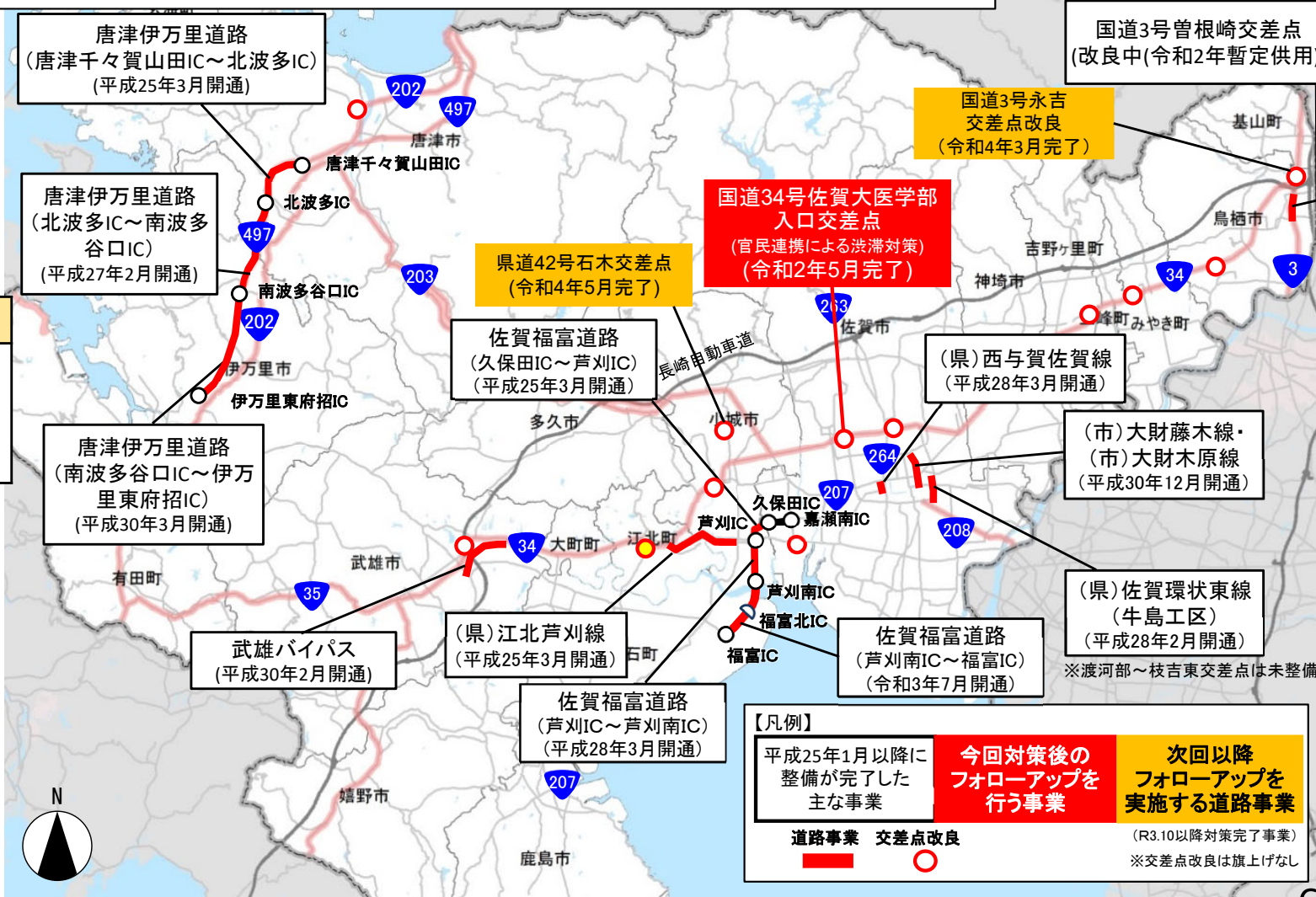
主要渋滞箇所数	集約区間数	箇所数
141箇所	34区間 (74箇所)	67箇所

箇所: 単独で主要渋滞箇所を形成
区間: 交差点等が連担するなど、速度低下箇所が連続しており、複数の主要渋滞箇所を含む区間

▼主要渋滞箇所の選定基準

曜日・時間帯	選定基準
平日 朝 (7時～9時)	平均速度20km/h未満 ※いずれか一方でも該当する箇所
平日 夕 (17時～19時)	
休日 昼 (7時～19時)	

佐賀県内の主要渋滞箇所と平成25年1月以降に整備が完了した主な道路事業



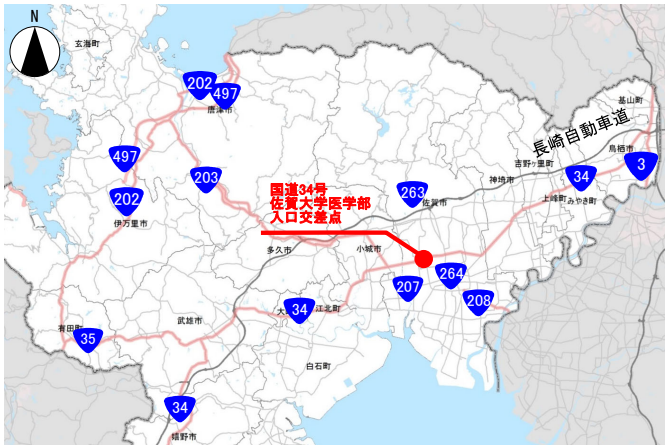
2. 主要渋滞箇所のフォローアップ

(2)対策済み箇所の確認

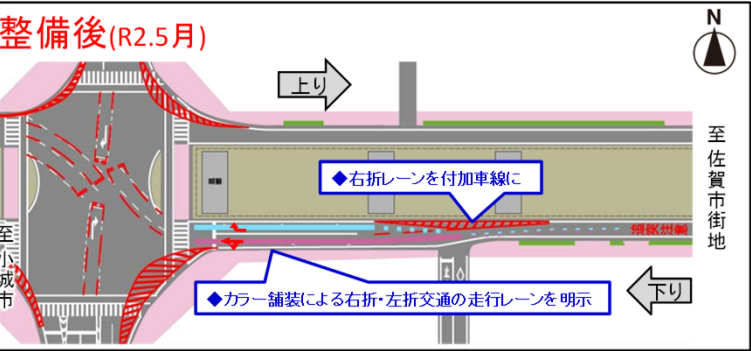
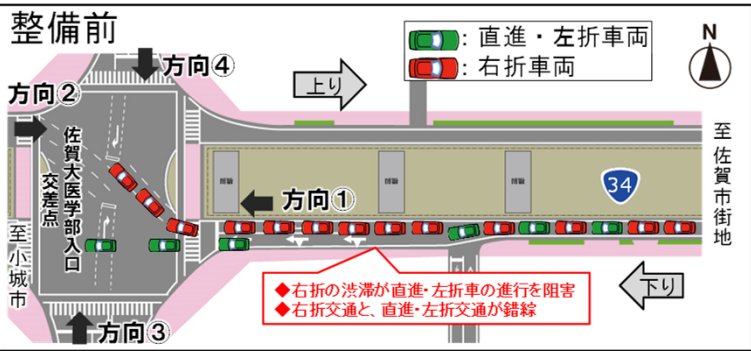
さがだいがくいがくぶいりぐち

①佐賀大学医学部入口交差点(佐賀市)

【位置図】



【対策内容】



【フォローアップ結果】

出典:ETC2.0プローブ情報(R3.10.1～ R3.12.26)

	主道路		従道路	
	方向①	方向②	方向③	方向④
	国道34号	国道34号	国道208号	市道
	カラー舗装(R2.5)	対策無		
旅行速度	20km/h未満	20km/h未満	20km/h未満	20km/h未満
	平日朝 平日夕 休日昼	平日朝 平日夕 休日昼	平日朝 平日夕 休日昼	平日朝 平日夕 休日昼
現地調査	渋滞有 最大滞留長: 100m 最大渋滞長: 30m	渋滞無 最大滞留長: 150m 最大渋滞長: 0m	渋滞有 最大滞留長: 450m 最大渋滞長: 200m	渋滞有 最大滞留長: 400m 最大渋滞長: 50m
	至小城市	至佐賀市街地部	至佐賀空港	至佐大医学部

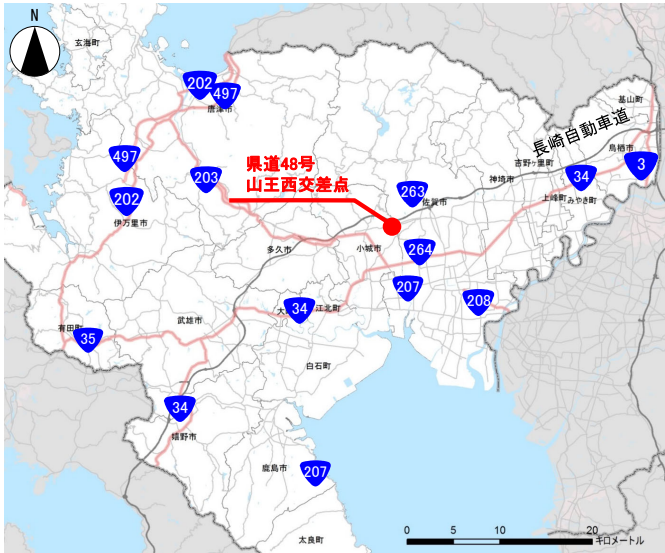
現地調査にて、国道208号側等にて渋滞発生を確認
⇒解除基準を満足しないため「経過観察」

2. 主要渋滞箇所のフォローアップ

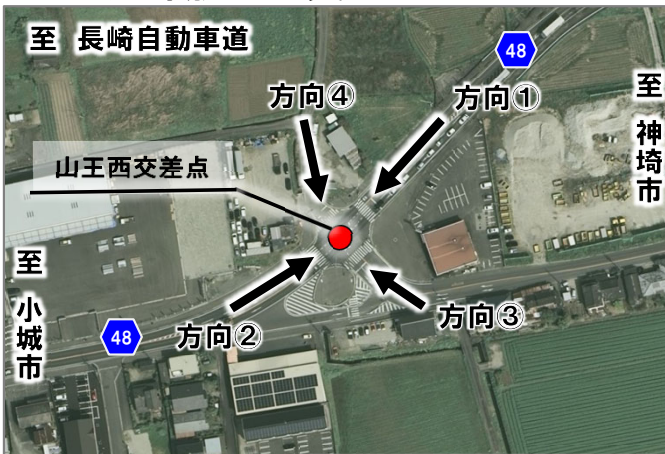
(3)未対策箇所の確認

①山王西交差点

【位置図】



【交差点部航空写真】



(c) NTTインフラネット, Maxar Technologies.

【フォローアップ結果】

出典:ETC2.0プローブ情報(R3.10.1～ R3.12.26)

	主道路		従道路	
	方向①	方向②	方向③	方向④
	県道48号	県道48号	市道	市道
	対策無			
旅行速度	20km/h以上	20km/h以上	データなし	データなし
現地調査	渋滞無	渋滞無	渋滞無	渋滞無
通過時間			データなし	データなし

※信号待ち2回以上となる車両が5%未満であれば「渋滞無」と判断する

主要渋滞箇所の選定基準を2ヵ年クリア
現地調査及び通過時間検証において渋滞発生が確認されなかったため「解除候補」とする

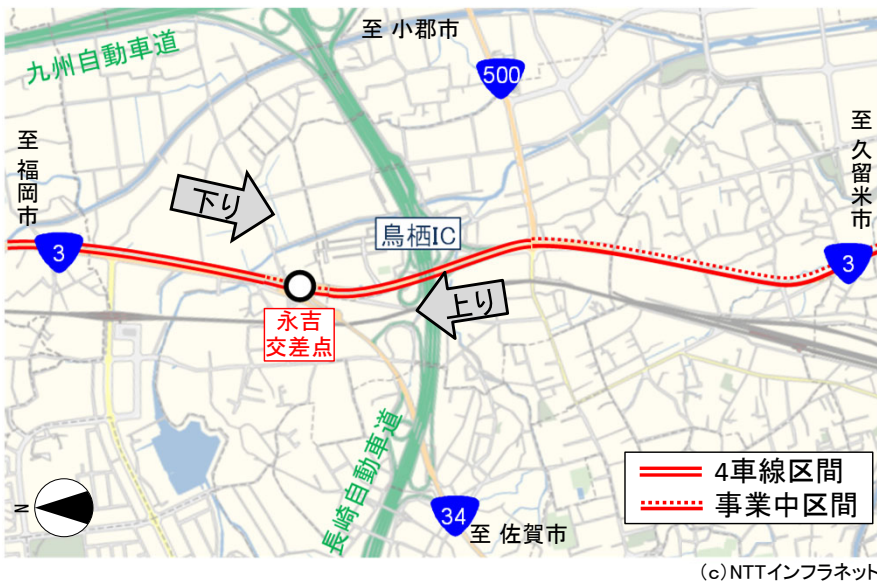
2. 主要渋滞箇所のフォローアップ

(4) 新たに対策を実施した箇所の紹介(国道3号永吉交差点改良【R4.3対策完了】)

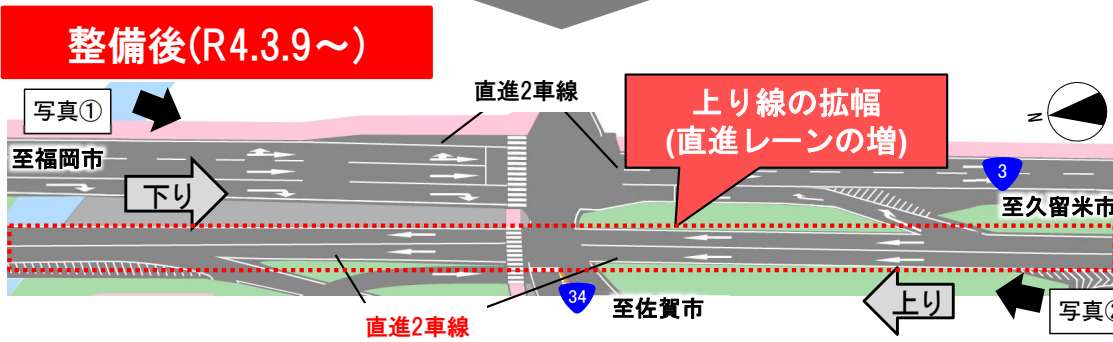
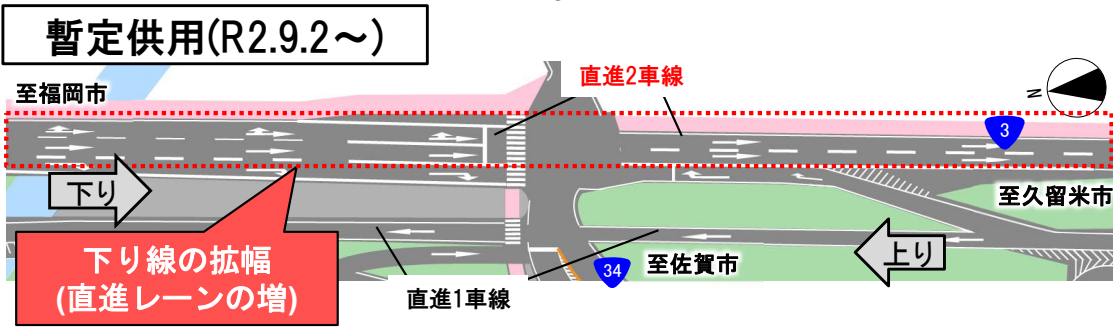
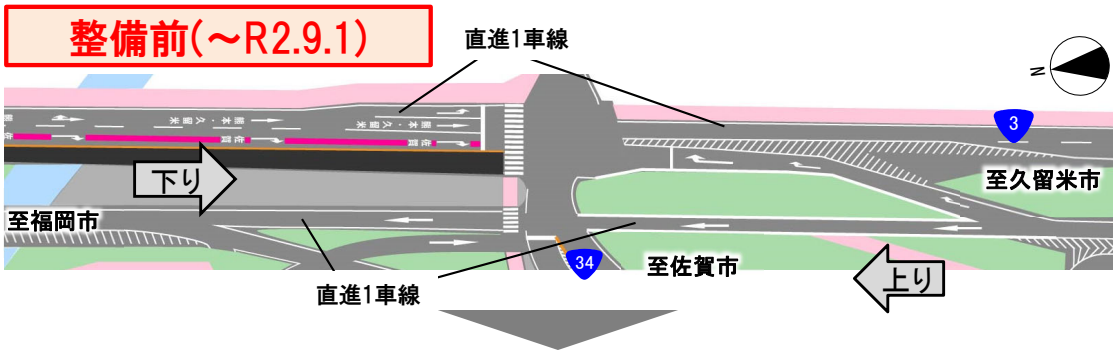
○令和2年9月国道3号下り方向の拡幅が完了、さらに令和4年3月新たに国道3号上り方向の拡幅が完了
○対策の実施により、国道3号上下方向で速度向上を確認(※次頁以降に詳細を記載)

事業概要

- 令和2年9月: 下り線の直進車線の拡幅が完了(1→2車線)
- 令和4年3月: 上り線の直進車線の拡幅が完了(1→2車線)



【対策内容】

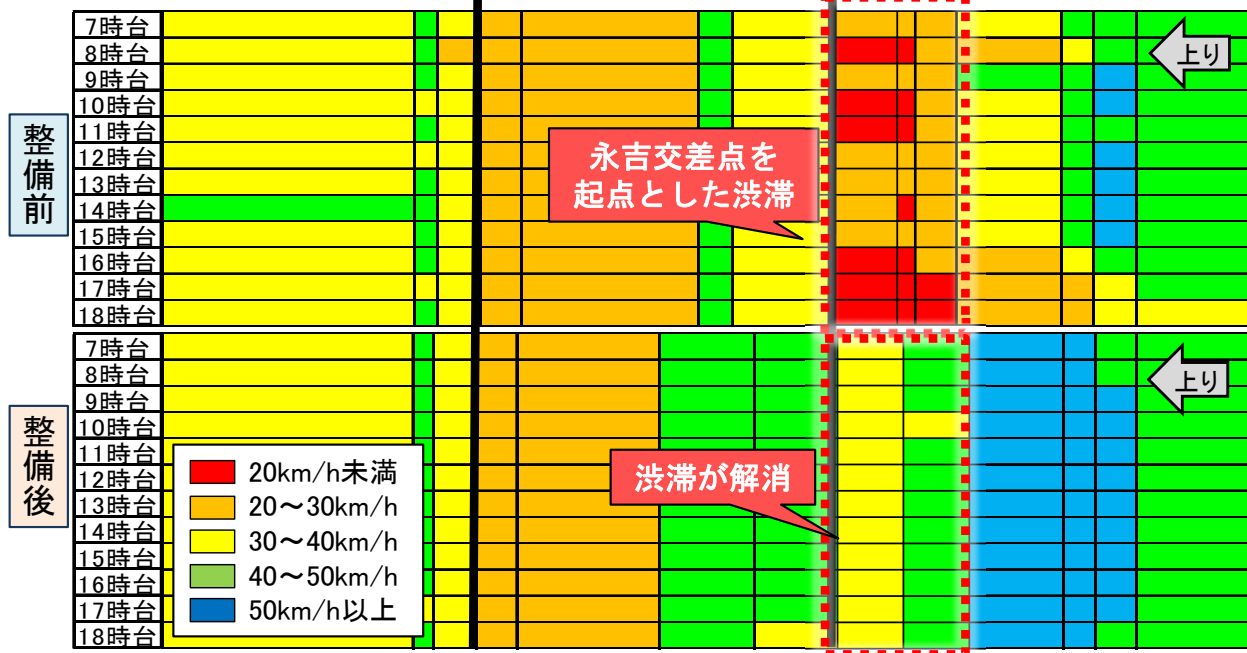


2. 主要渋滞箇所のフォローアップ

(4)新たに対策を実施した箇所の紹介(国道3号永吉交差点改良【R4.3対策完了】)

○ 上り側にて速度向上を確認 (20km/h未満となる速度低下区間が解消)

対策効果



出典:ETC2.0プローブ情報平日平均 整備前:R1.3.10~ R1.3.31、整備後: R4.3.10~ R4.3.31



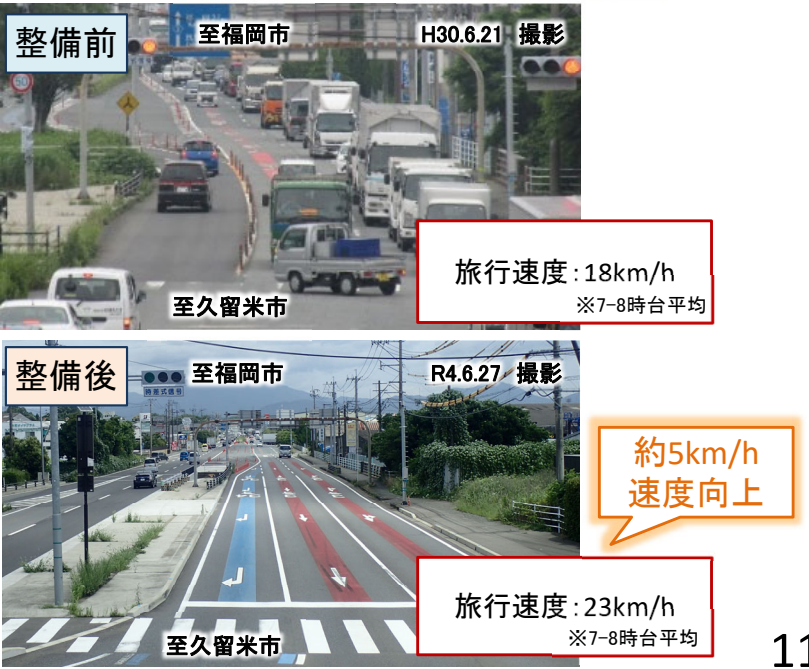
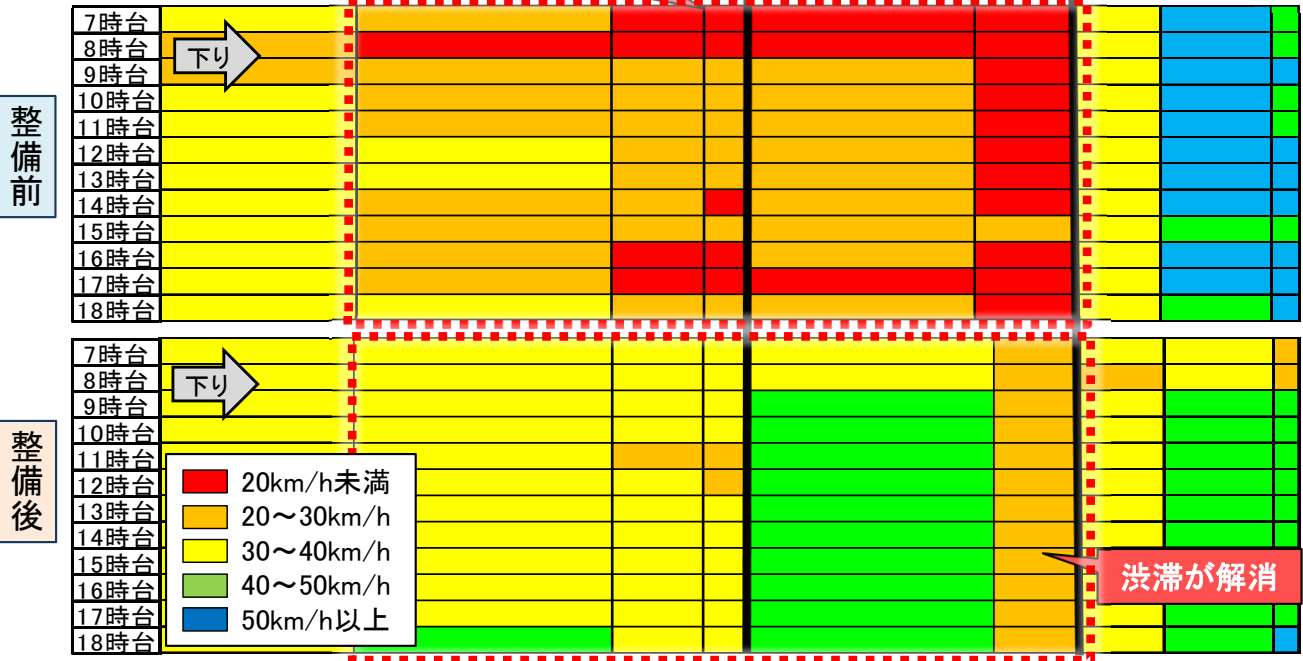
2. 主要渋滞箇所のフォローアップ

(4) 新たに対策を実施した箇所の紹介(国道3号永吉交差点改良【R4.3対策完了】)

- 下り側においても速度向上を確認 (20km/h未満となる速度低下区間が解消)
- 永吉交差点を起点として渋滞していた 弥生が丘交差点についても速度向上を確認

対策効果

【下り方面】



出典: ETC2.0プローブ情報平日平均 整備前: R1.3.10~ R1.3.31、整備後: R4.3.10~ R4.3.31

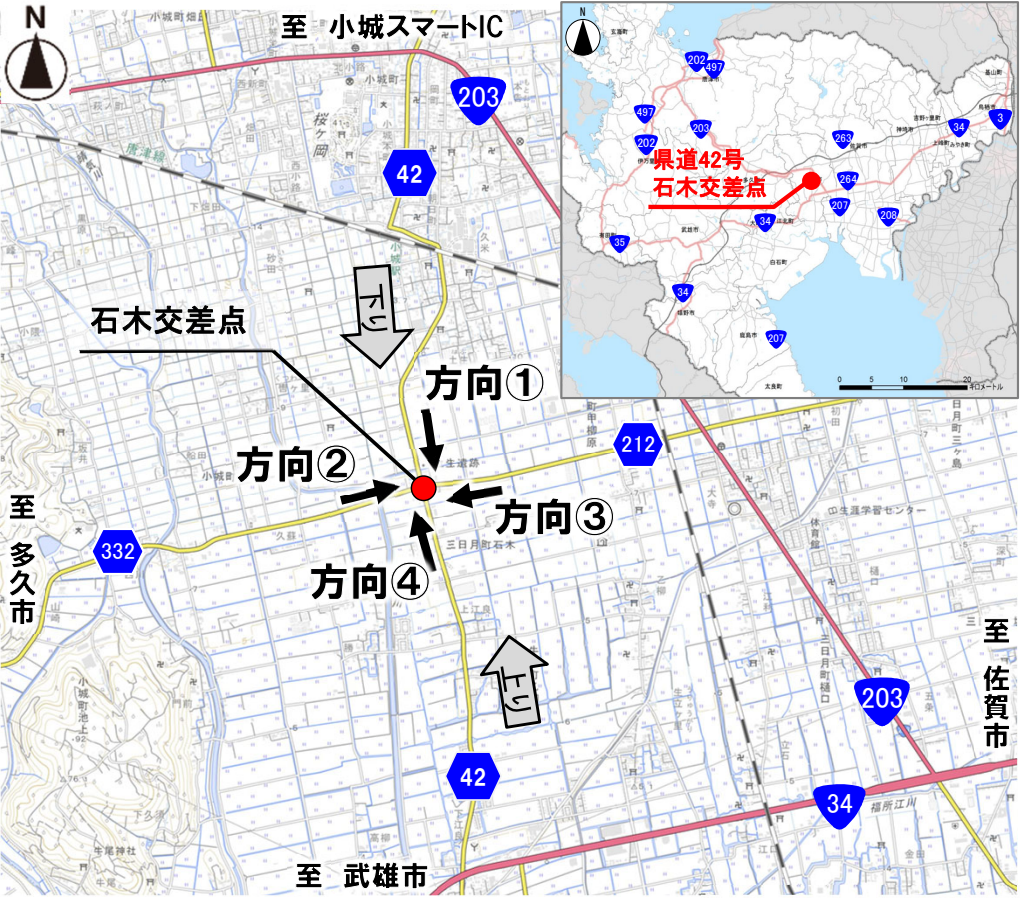
2. 主要渋滞箇所のフォローアップ

(4)新たに対策を実施した箇所の紹介(県道42号石木交差点改良【R4.5対策完了】)

- 令和4年5月に、県道42号下り方向にて**自転車歩行者道整備及び右折レーンの設置**が完了
- 今後も引き続き交通状況をモニタリングし、対策効果の検証を実施

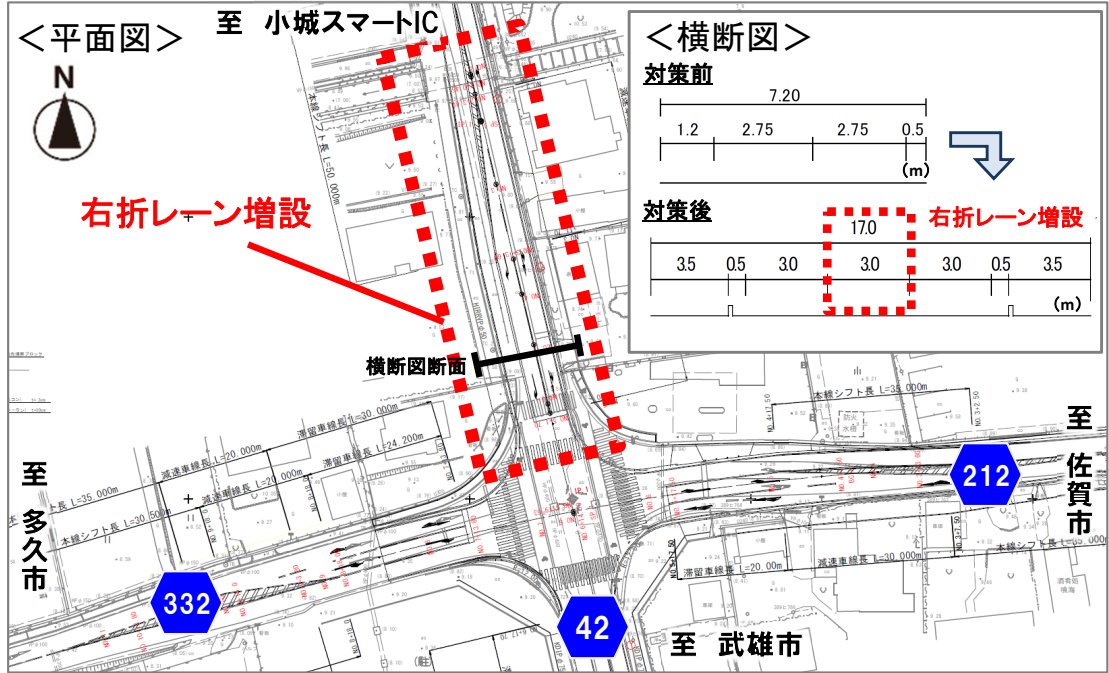
事業概要

- 令和4年5月：県道42号方向の自転車歩行者道整備、及び右折レーンの設置が完了



※国土地理院地図を加工して作成

【対策内容】



対策効果

出典：ETC2.0プローブ情報(対策前：R3.10.1～ R3.12.26, 対策後：R4.6)

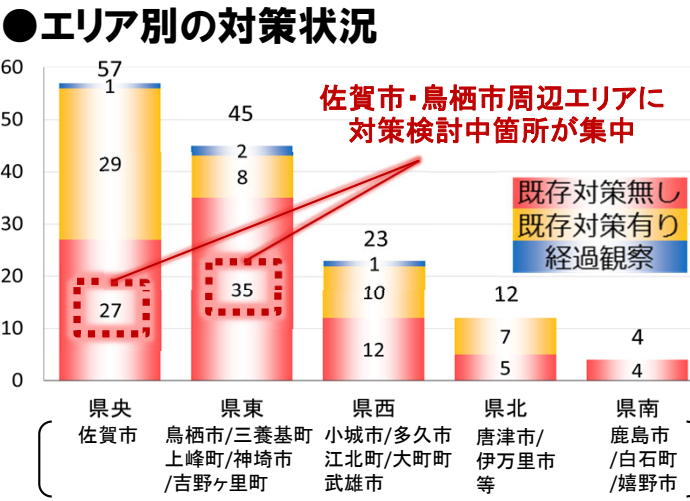
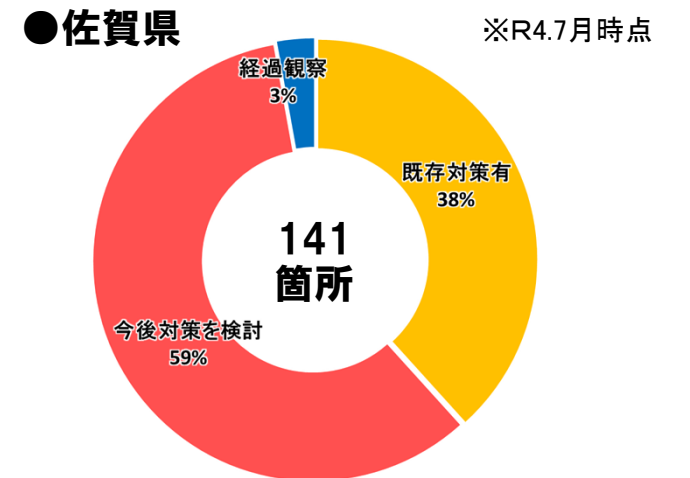
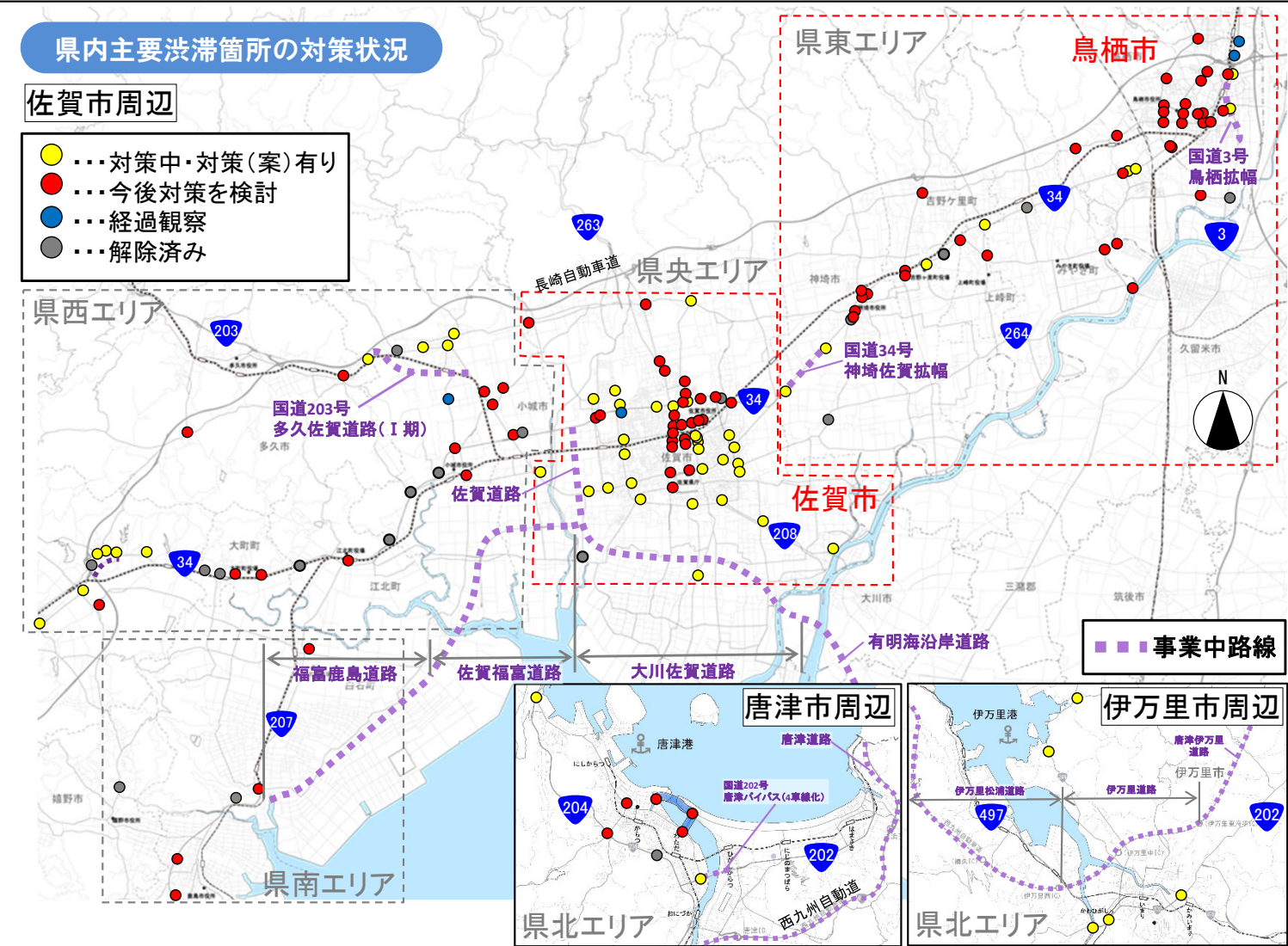
方向	路線	旅行速度 (km/h)						速度変化 (km/h)		
		対策前(R3.10-R3.12平均)			最新(R4.6平均)			速度変化 (km/h)		
		平日朝	平日夕	休日昼	平日朝	平日夕	休日昼			
方向①	県道42号	34.3	34.4	36.5	35.2	35.2	36.6	0.9	0.8	0.1
方向②	県道332号	16.2	16.6	20.3	16.1	15.3	18.4	-0.1	-1.3	-1.9
方向③	県道212号	38.4	35.7	39.6	38.9	34.9	37.6	0.5	-0.8	-2.0
方向④	県道42号	20.5	25.2	33.0	18.6	25.8	33.1	-1.9	0.6	0.1

対策を実施した県道42号(北流入)で速度向上を確認
⇒今後も継続し対策後の交通状況をモニタリング

3. 今後の渋滞対策について

(1)佐賀県内の主要渋滞箇所の対策実施状況

- 佐賀県内では国道202号唐津大橋(4車線化)等の拡幅や大川佐賀道路の整備等、ハード面での渋滞対策が進められている
- 一方で、主要渋滞箇所が密集する佐賀市や鳥栖市の市街地部エリアでは、用地制約が厳しいことからハード対策だけではなく、ソフト対策(TDM施策)も併せて検討・実施することが求められている



※既存対策有とは事業中箇所整備後に渋滞解消・緩和が見込まれる箇所、経過観察とは対策事業実施済の箇所

3. 今後の渋滞対策について

(2)ハード面での渋滞対策について(国道202号唐津バイパス(4車線化))

- 国道202号唐津バイパス(4車線化)が令和4年度に新たに事業化
- 当該区間の整備により、車線減少部(4車線→2車線)を起点とした渋滞の解消・緩和が期待される

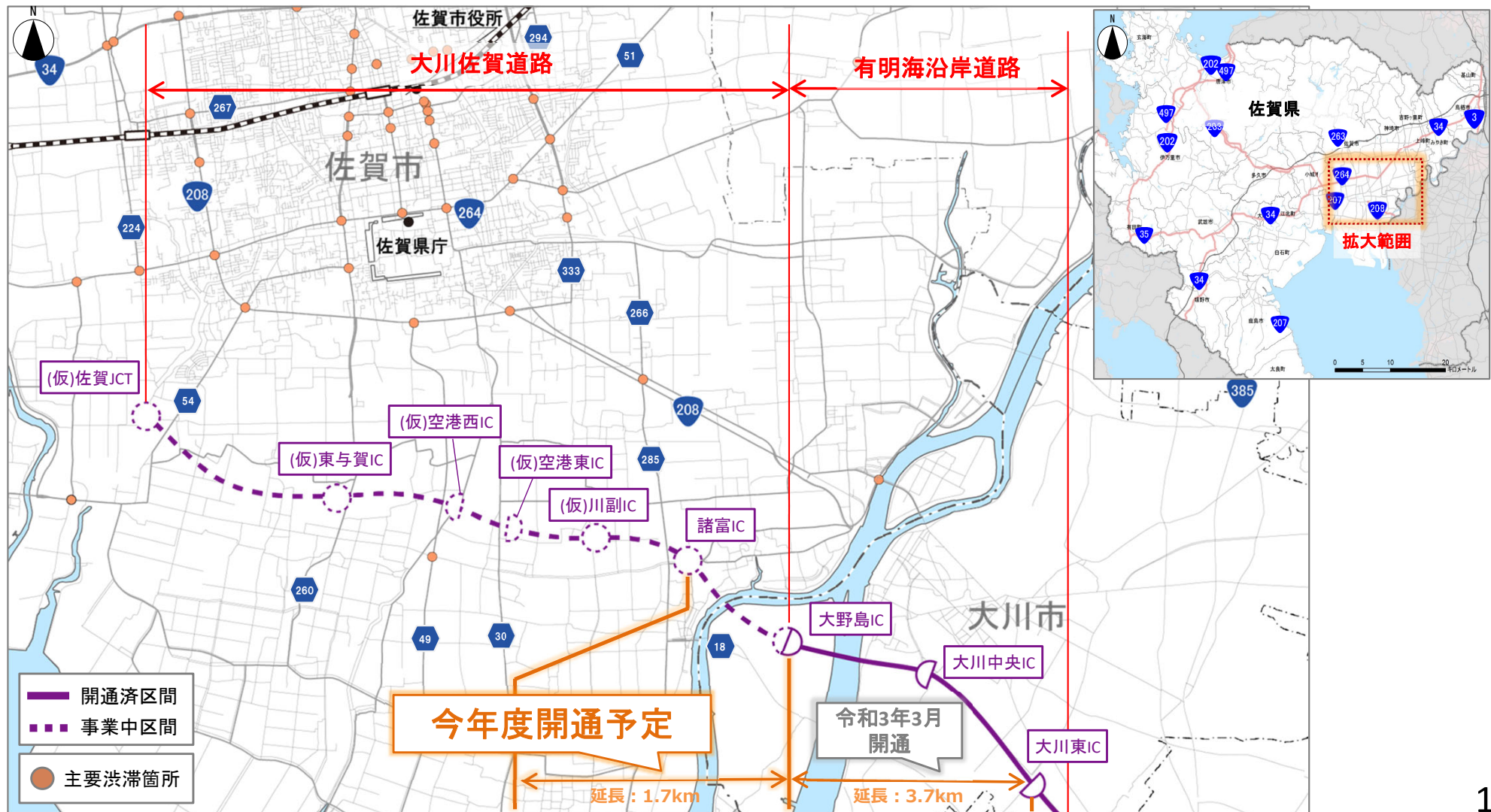


※国土地理院地図を加工して作成

3. 今後の渋滞対策について

(2)ハード面での渋滞対策について(有明海沿岸道路・大川佐賀道路)

- 佐賀県南東部では令和3年3月に有明海沿岸道路(大川東IC～大野島IC区間)が開通し、今年度は新たに大川佐賀道路(大野島IC～諸富IC区間)が開通予定
- 渋滞対策協議会では、並行する国道208号の渋滞緩和効果の検証や、新設されるIC付近の交通状況変化等、今後モニタリングを実施予定

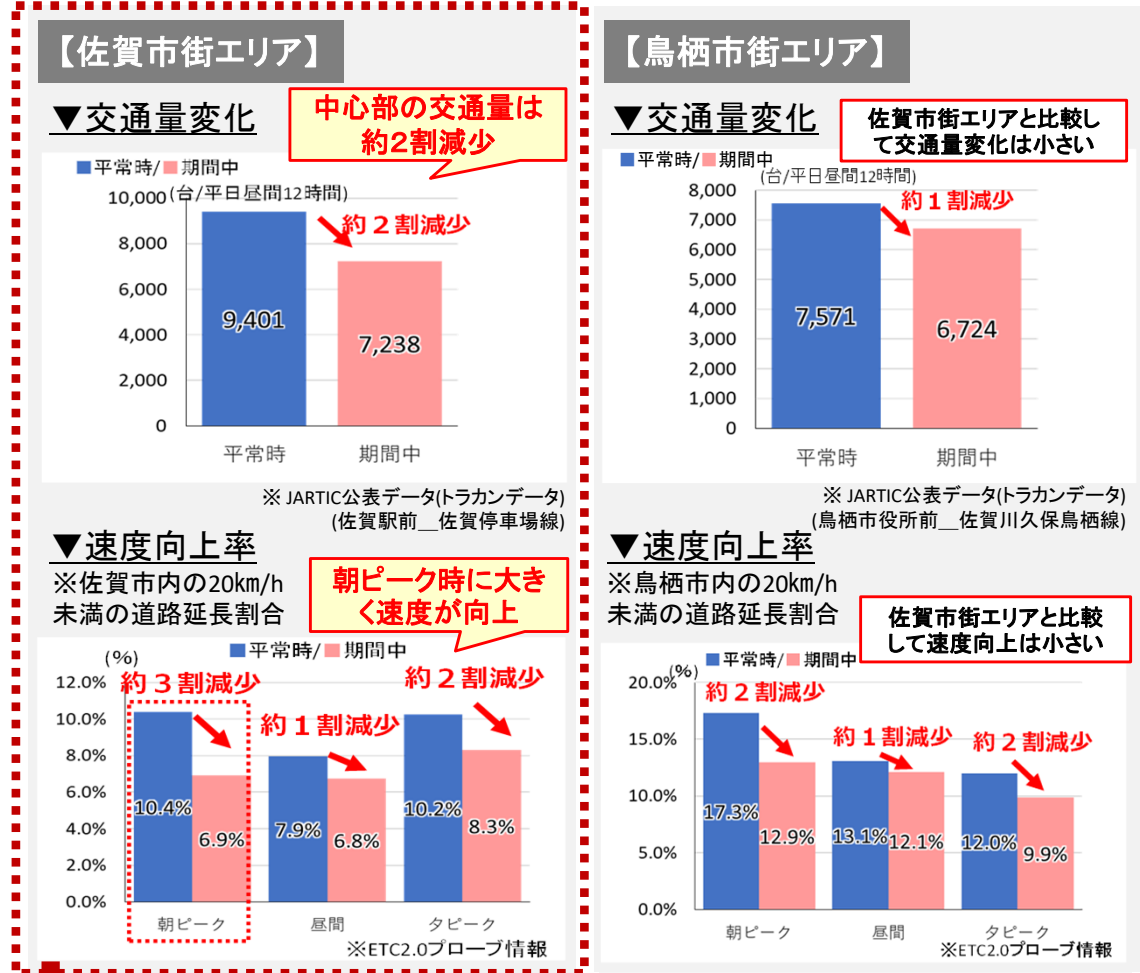


3. 今後の渋滞対策について

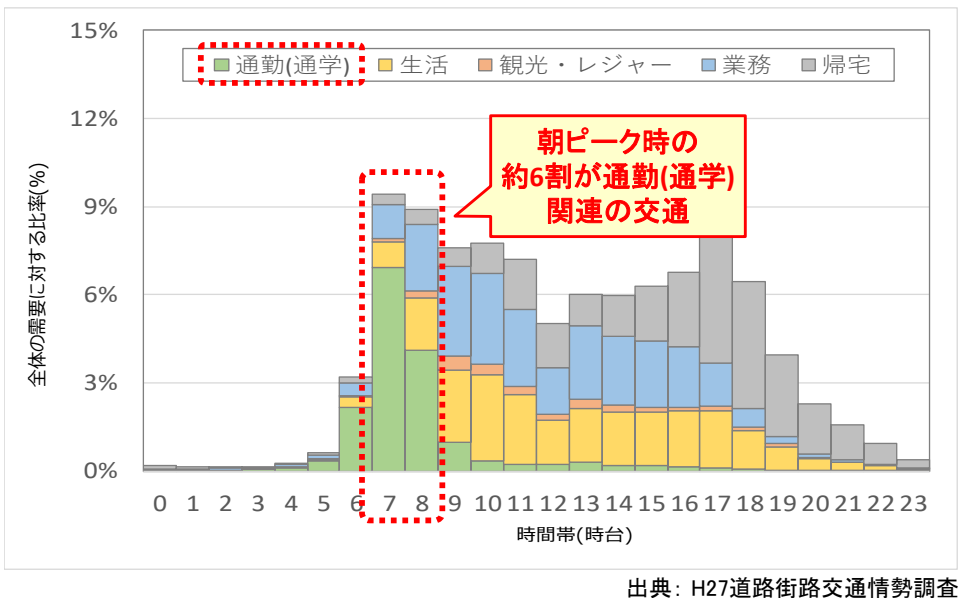
(3)TDM施策の検討・実施について ①検討経緯

- 渋滞対策協議会ではコロナ禍の知見を踏まえたTDM施策について検討を実施
- 緊急事態宣言期間(R2.4~5)において大きく速度向上が確認された佐賀市街エリアの通勤交通をターゲットとして交通手段転換策の検討を推進(令和3年3月交通渋滞対策協議会)

●緊急事態宣言下の速度状況変化(佐賀市・鳥栖市エリア)



●佐賀市街地部への流入交通の目的別交通需要



佐賀市街エリアへの通勤交通を主要ターゲットとして交通手段転換策※の検討を推進

※テレワーク(需要抑制策)・時差出勤(時間転換策)は、既に取り組みが開始されていること、周辺道路網の混雑状況から経路転換策は困難であることを踏まえ、渋滞対策協議会では交通手段転換策を推進する方針とした

佐賀市街エリアの朝ピーク時に大きく交通量が減少し速度が向上
⇒TDM施策による変容可能性が高いと判断し、佐賀市街エリアをターゲットに設定

3. 今後の渋滞対策について

(3)TDM施策の検討・実施について ②社会実験の実施(実施内容)

- 佐賀市街地部を対象に、**自家用車通勤から自転車通勤への交通手段転換を図る社会実験**を令和3年10月8日(金)～10月31日(日)の期間で実施（※新型コロナウイルス感染リスクを考慮し自転車利用に絞った交通手段転換策を実施）
- **ポスターや市報・県民だよりへの掲載、SNS等の媒体を活用し、広報**を行った。

●広報ポスター

“自転車通勤”で 渋滞のイライラ解消しませんか？

佐賀県交通渋滞対策協議会では、佐賀市街地部における通勤時間帯の渋滞緩和を目的として、**佐賀市街地部へお勤めの皆様に自転車利用をお勧め**しています。

社会実験期間：令和3年10月8日(金)～10月31日(日)

上記期間を「社会実験」と位置づけ、注力的に自転車への転換及び渋滞緩和を図ります。

期間中の積極的な自転車通勤をお願い致します！
これを機に、是非通勤手段を考えてみませんか？

◆ 取り組みにご参加頂けましたら、是非感想もお聞かせください！

【アンケート】<https://questant.jp/q/LXJQ22F9>

※上記アンケートは10月8日以降回答可能となります





自転車は「**軽車両**」です。
ルール・マナーを守り、安全に注意して利用しましょう！

「でも…やっぱり車の方が便利じゃない？」というアナタへ…

①移動時間が早く済む！

◆ 移動距離が約5km以内の移動では、**自転車**が最も所要時間が短く済みます！



②時間が読みやすい！

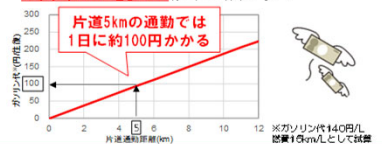
◆ 渋滞に捕まらない自転車は、**遅れを考慮して出発時間を早める必要もありません！**



▲佐賀市内の道路における遅れ時間

③経済的！

◆ ガソリン代のかからない自転車は、もちろん**お財布にも優しい移動手段**です！



片道5kmの通勤では1日に約100円かかる

※ガソリン代140円/L 片道通勤距離5kmとして試算

取組主体

佐賀県交通渋滞対策協議会
【事務局】国土交通省 九州地方整備局 佐賀国道事務所 計画課
〒849-0924 佐賀県佐賀市新中町5-10 TEL:0952-37-0916
【ホームページ】<http://www.qsr.mlit.go.jp/sakoku/works/trafficjam/tdm.html>



●実施した広報活動

広報媒体		詳細
①	ポスター・チラシ配布	・各機関へ配布・各管理施設での掲載(計7,108部) ・アンケート協力事業者へのメール配信(計141通)
②	関係機関HP	・各機関のHPにバナー掲載
③	会報誌	・佐賀市報、県民だより
④	デジタルサイネージ等	・佐賀市観光協会(佐賀駅前COMBOX内) ・道路情報板(33基)
⑤	SNS	・佐賀国道事務所公式Twitter(週1回投稿、全6回(9/24～10/30)) ・佐賀県公式Twitter、Facebook(開始時1回投稿)

▼デジタルサイネージでの掲載

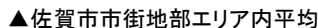


▼SNSでの掲載 (佐賀国道事務所公式Twitter)



(3) TDM施策の検討・実施について ②社会実験の実施(効果検証)

- ## ●社会実験実施中の交通状況変化(朝ピーク時)



出典: JARTIC公表データ(トラカンデータ)
TDM実施期間: R3.10.8～R3.10.31
前年度同時期: R2.10月

▼取り組みを知った情報媒体



参加者の多くは継続意向有り
継続的な広報による拡大・浸透が見込まれる

より取り組みを浸透させていくためには、勤務先をターゲットとして効果的かつ継続的な広報が必要

3. 今後の渋滞対策について

(3)TDM施策の検討・実施について ③実施中の取り組みの紹介

○ 佐賀県では、ゼロカーボンアクションの一環として「ノーカー de エコ SAGA チャレンジ」と題し、参加事業所を募りエコ通勤を推進する、事業所をターゲットとした取り組みを実施(R4.1.17～)

●広報ポスター

SDGsに取り組みたい企業のみなさんへ

マイカー通勤から、エコ通勤へ。

「ノーカー de エコ SAGA チャレンジ」

参加事業所募集！

支店や部署単位でのお申し込みも歓迎します

気候変動が進み、世界各地で異常気象、自然災害が頻発しています。
県内でも令和元年、3年と立て続けに豪雨災害が発生し、甚大な被害を受けました。
地球温暖化を防止するため、一人ひとりがCO2削減に取り組む必要があります。

COOL CHOICE 事業所のみなさま、「エコ通勤推進宣言」をして、
週1回からでもマイカー通勤からの転換を進めましょう！

参加方法は裏面をご覧ください

「エコ通勤」はCO2の削減だけでなく、社員の健康増進、交通事故の減少にもつながります。

CO2 排出量削減で脱炭素社会へ

1人が1km移動する時のCO2排出量

130g

0g

0g

マイカー 自転車 徒歩

歩こう。佐賀県。

マイカーに依存しない「歩くライフスタイル」の推進

SAGA TOCO

佐賀県公式ウォーキングアプリ SAGATOCO

時間別交通事故発生件数 (県内)

発生件数

時間

運動通学時間帯の事故が多い！

参照：佐賀県警察HP 交通事故発生状況 (令和2年中)

佐賀県

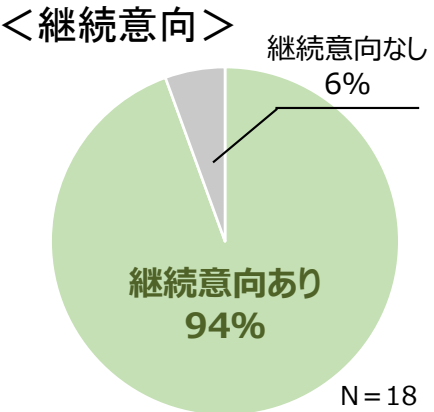
●取り組み概要

- 佐賀県内の事業所に対して 広報ポスター等によりエコ通勤実施を呼びかけ (徒歩、自転車、公共交通機関利用等)
- 参加事業所に対し、企業PR用の登録ステッカーを配布

●実施状況(R4.3末時点)

<参加事業所数> 22事業所
<総従業員数> 309人
<取り組み実施例>

- 従業員への自転車・鉄道通勤の呼びかけ
- 会社保有の自転車の貸出 等



<取り組み参加者の声>

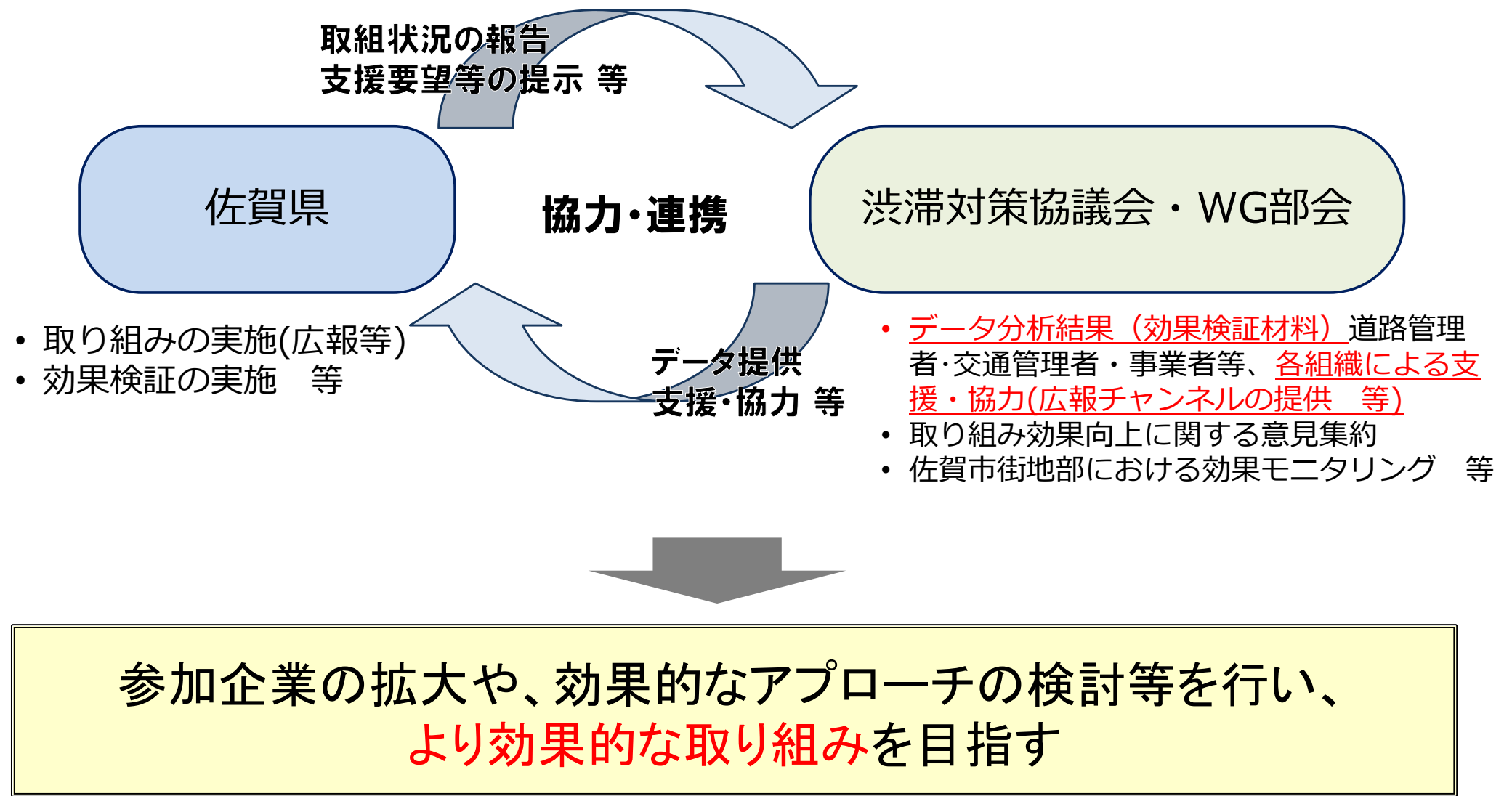


- 今回の取り組みがきっかけで通勤手段を自転車に変更したことで、自転車の利便性や快適性を実感した
- 車通勤者が多く駐車スペースが十分でなかったため、今回のような通勤手段転換の取り組みは企業側にとってもメリットがあると感じた

3. 今後の渋滞対策について

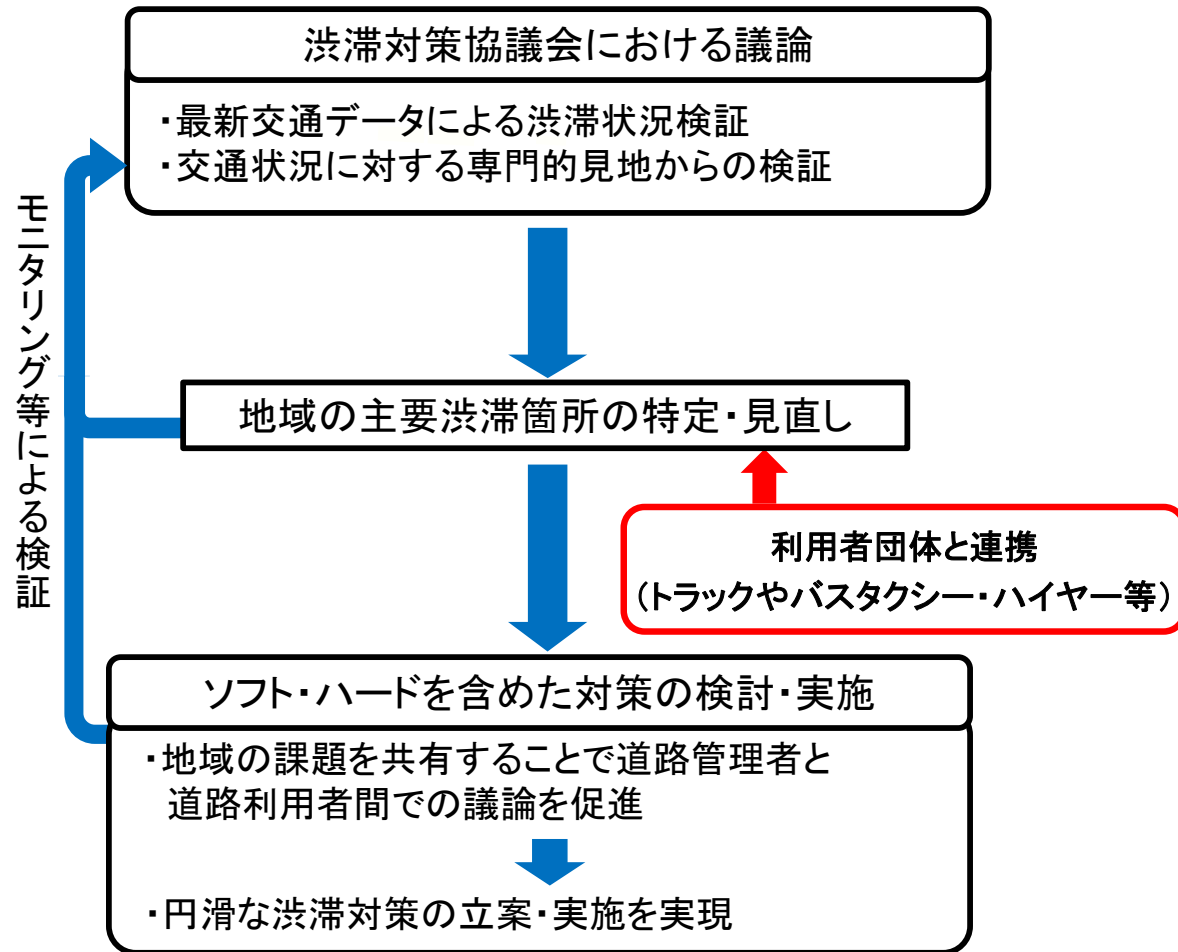
(3)TDM施策の検討・実施について ④今後の取り組み方針

- 佐賀県を主体にエコ通勤施策を継続的に推進するとともに、渋滞対策協議会においてはデータ分析結果の提供や意見集約等を行い、佐賀市街地部における交通状況のモニタリングを引き続き実施



4. 官民連携による渋滞対策

○人・物の輸送の効率化を図るため、渋滞対策協議会とトラックやバス等の利用者団体との連携を強化し、利用者目線で対策箇所を特定したうえで、即効性のある渋滞対策を実施



＜トラックが渋滞に巻き込まれている状況＞



＜バスが渋滞に巻き込まれている状況＞

引き続き、トラック・バス等事業者から見た渋滞箇所の対策を実施予定

4. 官民連携による渋滞対策

(1)要望箇所一覧 【トラック協会からの対策要望箇所(令和3年10月)】

都道府県名	渋滞箇所	
佐賀県	国道3号 永吉交差点付近	国道204号 黒塩交差点
	県道31号 乗目交差点	国道207号 片田江～扇町
	国道3号 曾根崎交差点	県道17号 柚比IC～アウトレット鳥栖付近
	国道34号 佐賀北警察署前	県道31号 東脊振IC付近
	国道34号 村田交差点(鳥栖市)	県道48号 千布北交差点付近
	国道3号 姫方町交差点	県道224号 扇町
	国道34号 鳥栖市役所付近	国道34号 県道248号 森田
	国道34号 一本松交差点(鳥栖市)	県道31号 上峰～鳥栖
	国道34号 田手交差点(吉野ヶ里町)	【県外の道路】国道2号 岡山バイパス
	国道34号 二本黒木交差点付近	【県外の道路】国道2号 廿日市～岩国線
	国道34号 神埼警察署前	【県外の道路】国道3号 北九州八幡～黒崎線
	国道34号 協和町交差点	【県外の道路】国道3号 大野城～太宰府
	国道34号 佐大医学部入口	【県外の道路】国道500号 大刀洗町十文字交差点付近
	国道203号 畑田交差点付近	【県外の道路】国道500号 西鉄小郡踏切付近
	国道263号 尼寺南小路交差点	【県外の道路】県道35号 粕屋～筑紫野
	国道3号 弥生が丘入り口交差点	【県外の道路】国道3号 荻原交差点

【バス協会からの対策要望箇所(令和3年10月)】

都道府県名	渋滞箇所	
佐賀県	国道264号・県道30号 片田江交差点付近	国道3号 永吉交差点付近
	国道207号 八戸交差点付近	国道207号 与賀町交差点付近
	国道34号 北方工業団地入口交差点付近	国道207号 扇町交差点付近
	国道202号 川東江湖辻交差点	国道34号 国道208号 佐大医学部入口交差点付近
	国道202号・国道204号 二里大橋交差点	国道263号・県道48号 尼寺南小路交差点
	国道204号 名村造船出勤時渋滞	国道264号・県道267号 神野1丁目交差点
	国道202号 大土井交差点付近	唐津市東唐津交差点と唐津市東町交差点(松浦橋北側・南側)
	唐津東中・高～東唐津交差点 唐津ロイヤルホテル川側の道	国道264号 豆津橋交差点
	県道347号 東町交差点付近	【県外の道路】国道264号 豆津橋東詰交差点
	国道34号 田手交差点付近	【県外の道路】県道602号 天神交差点付近

【ハイヤー・タクシー協会からの対策要望箇所(令和3年10月)】

都道府県名	渋滞箇所	
佐賀県	道34号 鳥栖市役所交差点(鳥栖市)	国道203号 畑田交差点(小城市)
	国道34号 田手交差点(吉野ヶ里町)	国道207号 八戸交差点(佐賀市)
	国道34号 佐大医学部入口交差点(佐賀市)	国道208号 新栄小学校交差点(佐賀市)
	佐賀市道 医大東通り、佐大病院正門から国道34号高架下付近(佐賀市)	県道347号 東唐津交差点(唐津市)
	国道34号 白岩公園入口交差点(武雄市)	県道44号 中町交差点
	国道202号 二里大橋交差点(伊万里市)	

【凡例】

: 対策済

: 対策中

: 検討中

4. 官民連携による渋滞対策

(2)検討状況 ①国道34号鳥栖市村田町交差点

○ 鳥栖市方面へ向かう上り方向にて、右折レーンの延伸を検討

《位置図》

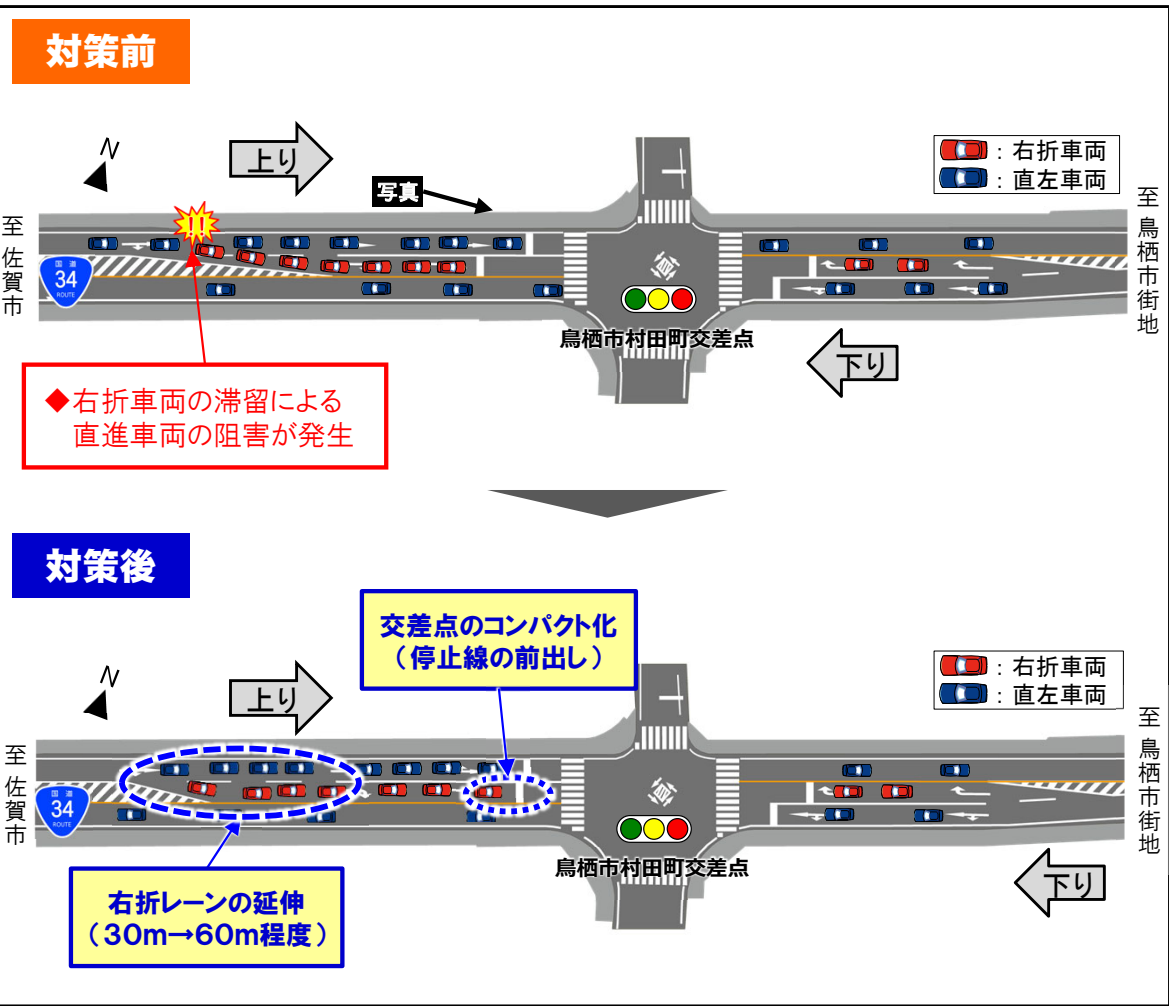


《広域図》



※国土地理院地図を加工して作成

《説明図》



今年度、工事発注を計画

4. 官民連携による渋滞対策

(2)検討状況 ②国道34号鳥栖市一本松交差点

○ 右折誘導帯の設置により右折車両の停止位置を明確化

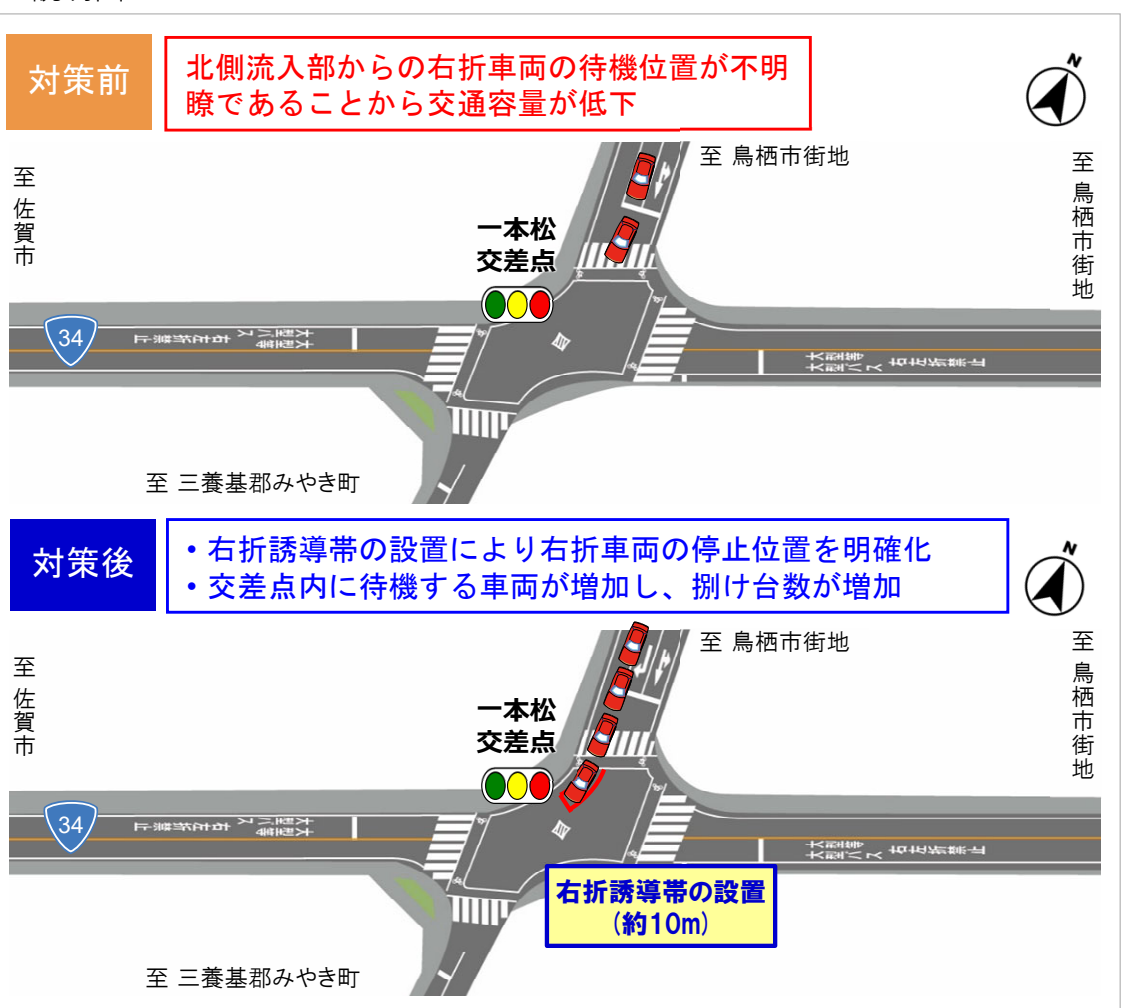
《位置図》



《交通状況》



《説明図》



《広域図》



※国土地理院地図を加工して作成

今年度、工事発注を計画

4. 官民連携による渋滞対策

(2)検討状況 ③国道202号二里大橋交差点

- 下り方向で右折車両の滞留により、直進車両の阻害が発生
- 当該交差点の滞留車両の影響により、隣接する川東江湖辻交差点では先詰まりによる渋滞発生

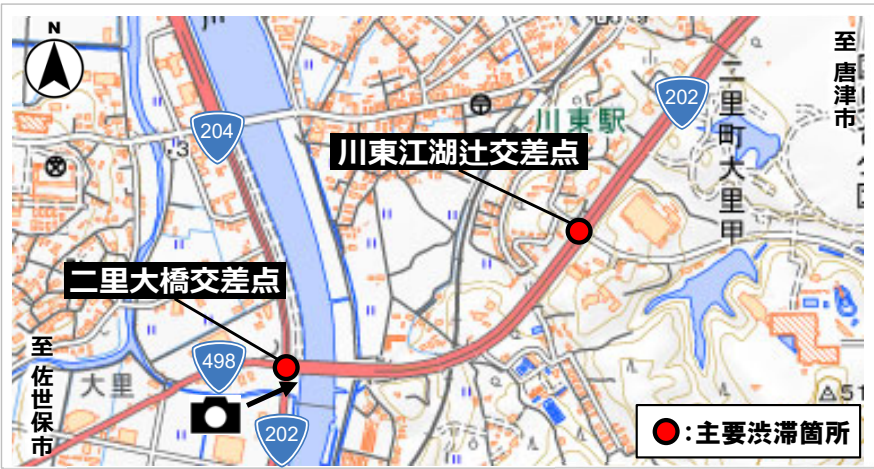
≪位置図≫



≪交通状況≫



≪広域図≫



※国土地理院地図を加工して作成

≪現況説明図≫



※国土地理院地図を加工して作成

今年度、交通量調査を計画

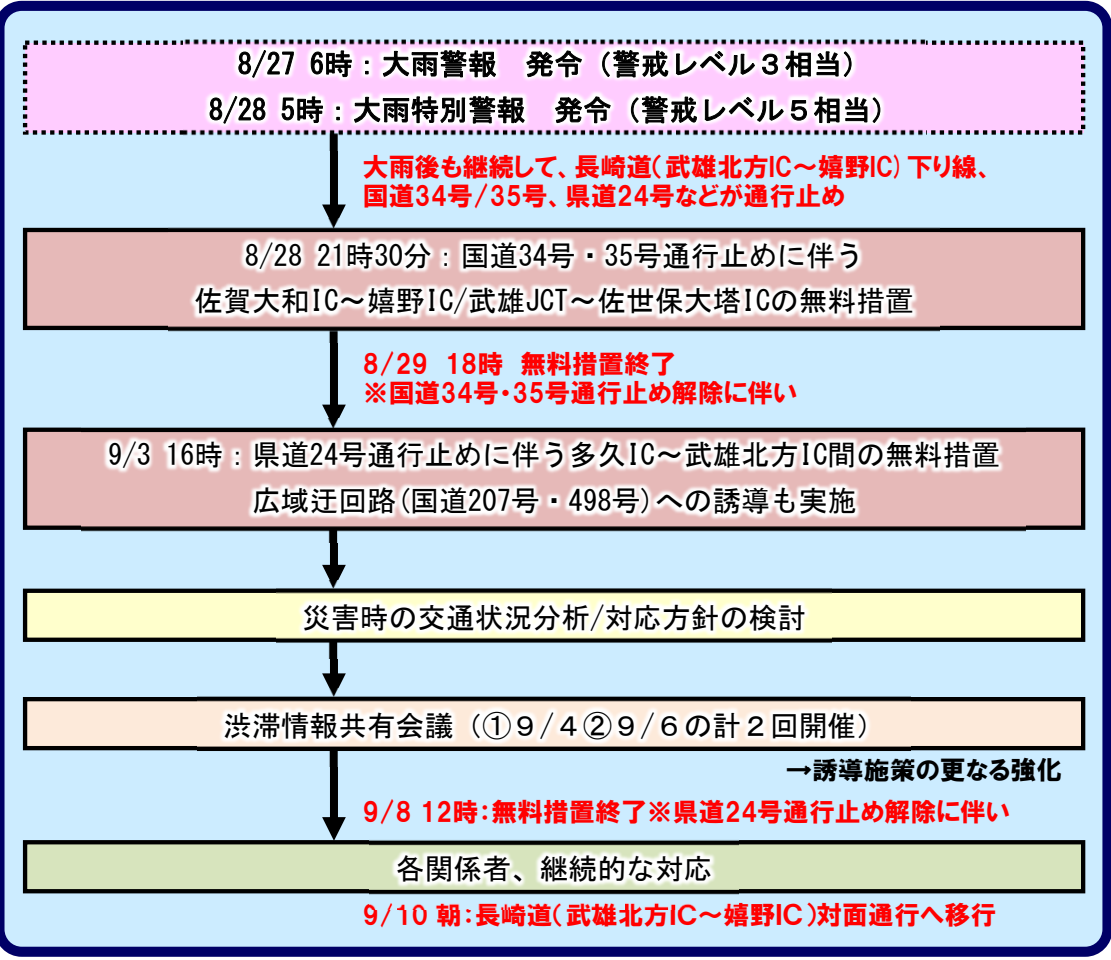
5. 災害時交通マネジメント

1. 背景

○近年、激甚化する災害により通行規制・交通集中による渋滞発生と対策の遅れが課題とされている。
○R1.7.9『道路の耐災害性強化に向けた有識者会議による提言』では、災害発生前の常時から交通マネジメントに係る統合的な組織を構築し、災害時にはルールにとらわれない迅速で柔軟な施策を展開することの重要性が提唱された。

2. 事例(令和元年8月豪雨における佐賀県の対応)

○豪雨災害により、長崎自動車道を初めとする多くの主要幹線道路において広域的に通行規制が発生
○通行規制への対応策として、関係者間での情報共有会議を開催しながら長崎道及び西九州自動車道の無料措置や広域迂回路への誘導といった交通マネジメント施策を実施



広域迂回路の調整・記者発表

- ・通行規制による渋滞抑制のため、道路利用者へ広域迂回路の周知を行う記者発表を実施（国・県・NEXCO 連名）



迂回路看板の現地設置及びLED情報版の設置

- ・広域迂回路を設定し、迂回路看板の設置及びLED情報版の設置を実施



6. 今後について

◆次回の協議会に向けて

- これまでに議論した交通課題を踏まえて、道路整備を始めとするハード対策や、現状の機能を有効活用するためのTDM施策、ピンポイント渋滞対策を検討
- 特に今年度新たに開通予定の有明海沿岸道路・大川佐賀道路周辺地域やTDM施策を推進する佐賀市街地部については、施策実施に伴う交通状況変化を引き続きモニタリング

①主要渋滞箇所の交通状況のモニタリングの継続及び解除検討

②主要渋滞箇所の渋滞要因の把握及び新たな対策の検討(道路整備、TDM施策、ピンポイント対策等)

③佐賀市街地部におけるTDM施策の継続実施、効果検証、改善策の検討

④既存対策の推進